

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

今までの菓子製造・販売に関わる全てのサプライチェーンを見直し、持続可能な未来に向けたこれからあるべき菓子メーカーとしての事業を確立する。産直志向をテーマにした地元農家さんや法人との取引は継続し、1次産業の地場事業、雇用維持を下支えし、今までの菓子原料を仕入れて製造するだけの菓子メーカーから6次化に着手し、菓子原料加工まで内製化、1次原料の生産者と直接繋がりwinwinの関係でgoing concernとなる。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	食品ロスの削減	2026年度 2023年度比5%削減
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	地域資源のジャージー牛乳、熊本山鹿産有精卵の継続使用	地域資源のジャージー牛乳、熊本山鹿産有精卵については値段高騰しても酪農家、地域産業促進維持のため変更しない
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	インターンシップ等の受入れ	2023年度4名→2026年度7名

<パートナーシップ>

熊本農業高等学校(ロス食品の提供先幹旋)、二岡、東部中学校(インターンシップの受け入れ)、フードバンクmamatoco

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	食品ロスの削減 工場製造ロス(選外品)販売実績からロス削減は確実に実施されているが売上増加に伴い、項目別の把握が難しい	フードバンク事業への提供 ※7月より開始。2023年までに増加	8%削減(2020年度比)
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	地域資源 新商品には全て地産原料を使用し、新商品の売上拡大に伴い構成比率増加	地産商品の売り上げ構成比 ※県産品の比率を上げる	2%増加(2020年度比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	インターンシップ等の受入れ 学校側との調整で受け入れ人数は増加できなかった	実績による効果測定 ※インターンシップの受け入れの増加	2022年度4名→2023年度4名

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。